

全国書店員が選んだ

いちばん!

売りたい本



2025年本屋大賞

# 本屋大賞

全国の書店員の投票で選ばれたベスト

10

2023年12月〜2024年11月に刊行された日本人作家の小説の中で、書店員自身が自分で読んで、いちばんお勧めしたいと思った作品です。

大賞

『カフネ』

阿部 暁子(講談社)

2位

『アルプス席の母』

早見 和真(小学館)

3位

『小説』

野崎 まで(講談社)

4位

『禁忌の子』

山口 未桜(東京創元社)

5位

『人魚が逃げた』

青山 美智子(コアエ研究所)

6位

『spring』

恩田 陸(筑摩書房)

7位

『恋とか愛とかやさしさなら』

一穂 ミチ(小学館)

8位

『生殖記』

朝井 リョウ(小学館)

9位

『死んだ山田と教室』

金子 玲介(講談社)

10位

『成瀬は信じた道をいく』

宮島 未奈(新潮社)

NOLTY®

Supported by

手帳ブランドNOLTY[ノルティ]は本屋大賞を応援しています。